

サンプル（参考までに）

整理番号

平成23年10月10日

岐阜県知事 殿

（団体・組織名）

NPOなんでもサポ - トセンタ - 岐阜

代表者の役職名及び氏名 理事長 中島幸雄 印

新しい公共支援事業による支援の申請について

（中間支援組織の人材育成事業）

新しい公共支援事業について、以下のとおり支援を申請する。

1. 支援申請者情報（該当する に 又は手書きはチェック、以下同様）

団体の種類	特定非営利活動法人 公益法人 社会福祉法人 学校法人 地縁組織 協同組合 その他（ 任意団体（法人格なし）
団体・組織名	NPOなんでもサポ - トセンタ - 岐阜
主たる事務所の所在地	岐阜県可児市若葉台9丁目162番地
本件の担当者氏名	中島幸雄
電話番号	050 7770 8886
メールアドレス	npo-03@wh.commufa.jp
ホームページ	http://jbvs.info/nsg/
団体設立年月日	西暦2003年5月23日
法人設立登記年月日	西暦2003年9月4日
活動目的	特定非営利活動を行う団体の法人化やNPO法人の運営や活動に関し、助言又は援助などをおこない、社会全体の利益に貢献する
主たる活動範囲	市区町村内（ ） 岐阜県内 複数都道府県内（ ） 全国 海外
会員数（社員総数）	14名
事務局体制	有給常勤 名 有給非常勤 名 無給常勤及び無給非常勤 3名
収入総額	直近の事業年度 0.5百万円 （西暦2010年7月～2011年6月）

2. 支援申請事業情報

事業名	県内NPO法人の設立及び既存NPO法人の運営、活動支援
事業内容等	県内のNPO法人設立の促進、既存NPO法人の活動支援
事業期間	2012年1月～2012年12月

3. 必要とする支援（予定、複数チェック可）

中間支援組織としての機能強化の相談対応が出来る人材を育成していただきたい。

NPO等からの要望は多様化しており、中間支援組織としてのスキルアップを図り、多様な要望に対応できる人材を育成していただきたい。

NPO等の活動基盤整備のための支援、 寄附募集支援、 融資利用の円滑化のための支援

4. 支援対象者としての要件等の確認（自己申告）

下記の事項に該当することを申告する。

特定非営利活動法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人、学校法人、地縁組織、協同組合等の民間非営利組織・団体等又はこれらの組織・団体等のうち、複数の組織・団体等が構成メンバーとなり、連携、協働して形成する一の組織・団体等であること。

著しく特定の個人又は団体の利益を図る活動を実施している組織・団体等ではないこと。

宗教活動又は政治活動（政策提言活動は除く）を主たる目的とする組織・団体等ではないこと。

暴力団もしくは暴力団員の統制の下にある団体ではないこと。

新しい公共の活動を適確に遂行する意欲や能力を有していること。

新しい公共がめざす社会の実現のために、市民等が自発的・主体的な参画によって活動を行っていること。

資金及び活動面において自立のための支援を必要としていること。

情報開示がなされていること、又は支援事業の取組み期間中に情報開示がなされる予定であること。

継続的に活動を行う団体であり、一度限りのボランティア活動等を行うものではないこと。

定款、規約またはそれに相当する文書を有し、適正な事業計画書、予算及び決算書が整備されていること、又は支援事業の取組み期間中にこれらが整備される予定であること。

予算及び決算書が既に整備済み 今後予算及び決算書を整備予定（ 年 月頃整備予定）

5. 情報開示の状況（標準開示フォーマットによる情報開示の状況及び予定）

既に開示済み

今後開示予定（ 2012 年 1 月頃開示予定）

6. 財務報告の状況

理解しやすい財務報告であることを申告する。（自己申告）

今後、財務報告を改善する予定（ 1 2 年 3 月頃までに改善する予定）

7. 都道府県による情報開示及び運営委員会の評価への協力等

今後、以下の事項を誠実に実行することとする。

ア 実施要領第 4 の 8 に基づく報告、自己評価及び運営委員会による第三者評価への協力

イ 実施要領第 5 の 7 の(2)に基づく調査への協力

8. 添付書類

別紙 1（団体概要）

別紙 1

団 体 概 要 (中間支援の人材育成事業)

団 体 名	特定非営利活動法人 NPOなんでもサポ - トセンタ - 岐阜			
定款の活動の種類において、「特定非営利活動促進法第2条第1項 別表」を掲げていますか	YES ・ NO			
今回参加させたいメンバー				
氏 名	性別	年齢	専従 非専従	これまでの市民活動歴、関係する資格の有無 等
伊藤一郎	男	65	非専従	当NPO法人の理事 岐阜県コミュニティ診断士 (活動歴8年)
舟橋二郎	男	61	非専従	当NPO法人の理事 (活動歴3年)
渡邊三郎	男	43	非専従	当NPO法人のスタッフ (活動歴2年)
服部四郎	男	52	非専従	当NPO法人のスタッフ (活動歴1年)

団体の活動について

<p>活動の目的・ミッション</p> <p>新しい公共を担うNPO等の組織体に対し、情報提供や助言を行い、また行政や産業界など地域社会を構成するステークホルダーとのコネクター役を担い、社会全体の利益に寄与することをミッションとする。</p>
<p>これまでの活動実績</p> <p>県助成、はつらつファンド、県委託事業などでNPO人材育成を行う</p> <p>平成16年度 中濃まちづくり志縁塾 平成17年度 第1期団塊世代塾 平成18年度 第2期団塊世代塾・地域デビュー講座 平成19年度 これから始める地域デビュー講座(1) 平成20年度 これから始める地域デビュー講座(2)</p>
<p>今後の活動計画</p> <p>新しい公共を担う人材の養成機関として「岐阜コミュニティ創造大学」を今年5月に設立し、授業が始まっている。 現在100名を超える在籍者がいるが、ますます内容を充実させて、地域再生のシンクタンク機能とプラットホームの役割を果たしたい。</p>
<p>支援を受けることにより期待すること</p> <p>今回の中間支援組織の人材養成講座を通じて、社会の現状を把握し、新しい公共の国家政策に対応できるスタッフのスキルアップを図り、より有益な活動が出来ることを期待する。</p>

中間支援を行うことの方

中間支援組織は、日本に急速に育ちつつあるボランティア・NPO活動に、社会が求めるニーズに的確にフィットしていくための、サポート役を担う組織と考えている。従って多くの社会貢献活動団体に相当な影響を及ぼす位置にあり、その重要度に鑑み優れた知識と倫理観に基づく行動が求められ、やりがいのある組織体と考えている。

枠は適宜広げて記載してください。